



焼山乳牛哺育センター

頌春

昭和四十八年元旦

新春を迎えて



横越村長 神田 正平

村民の皆様、新年おめでとうでございます。
懐しい一九七二年も思い出多い幾多のものを残しながら、過去の彼方に消えて行きました。
そして輝かしい新春を迎えて本年もより前進した住みよい郷土の建設、そして豊かな村作りの為に村民の皆様といっしょになって努力することを、年頭に当りお誓い申し上げます。

関連の諸施策については関係全体の中で或はフック別には或は数市町村の共同処理の形で実施されるものと考えます。目下これら計画の策定中であり本年度以降に新しい課題になるものと考えます。
これからの国の施策も、今までの経済第一主義から健全な経済成長を計りながら社会福祉の充実が大きく前進しようとしております。従って今後村も国の施策と相俟って住民の福祉政策に新しく取り組みながら一面社会教育の振興をはかって豊かな人間性を育み出す事が新しい年の命題であると考えっております。
新春を迎えて、村民の皆様が御多幸を祈ると共に、横越村が一步一步発展前進するよう努力することを、お誓いし、年頭の御挨拶といたします。



茨城県
美浦村村長
あけましておめでとう

昨年は、我が国の教育制度が出来て以来百年目を迎えた記念すべき年であり、各小学校においてそれぞれ特色ある記念行事が盛大に行われました。各校の創立百周年という記念すべき意義と、近く学校統合実施に踏み出す第一歩とも考えられぬ感慨深いものがあります。
新しい年を迎えて村として最も大きな事業は、学校統合校舎の建設であります。目下敷地の造成を行っておりますが、約八千坪余の用地の中に鉄筋コンクリートの近代校舎が今後三か年の月日によってお目見えし、村小学校教育の中心となるものと考えます。
村も年々都市化の影響を受け、特に農産問題を始め生活環境整備及び道路問題等に多くの悩みを抱えております。従ってこれ等の解決については単に一市町だけで解決されるのではなく、今後はもっと広い行政の力、即ち広域行政圏の中で処理解決すべきであるとの発想から、先般新潟市外十八市町村で構成する新潟圏域の発足を見たのであります。

親愛なる横越村の皆さん、希望に輝く一九七三年を風く迎えられましたことを深く美浦村より謹んで慶賀申し上げます。
貴村は、愛村の情熱にもゆる神田村長を中心に関係機関の協力と村民の理解によって、同地方の模範村として着実に進展されて居りますことは、抽抜村としての我が村にとっても嬉しい限りであります。
当村も貴村との交流十数年になり、お隣様で教育、福祉、開発等も順調に進んで居り、心配をかけたトレーニングセンター建設も漸く、工事に着手し、大手業者により音高らかに整地工事が進められて居ります。
買取面積百八十町、総工費約三百億の予定で税金など大巾に増え、財政も好転するし、二千頭の駿馬のいななく関東の名所ともなり、四十九年茨城国体もここを使用することです。
常に親しく交流されて居る青年会を始め皆様のこころ遣をお待ちして居ります。
貴重な広報紙を御覧させて頂いたご厚意に感謝し、貴村のご発展と各位のご多幸をお祈り申し上げます。

あけまして、おめでとうございませう。皆様おそろいでよいお年をお迎えのことと存じます。一九七三年の元旦を迎えて新しい希望と計画で盛り切つていられることと願います。
すでに私たちの年にもあの幼い頃の新鮮な思い出が正月の感覚を味わうことばできません。
にぎやかな大晦日があけて元日の朝を迎えたと、木々の緑も、あたりのたすまいもそこにはたう空気がまだ昨日とはうってかわったよう新鮮な感じがして、何かいい事があるような期待と希望で正月を迎えたものでした。生活が慣性にながれ、仕事に追われて習慣的な日常生活を送っている、あらたまった、機を正すような気持を持つことが困難なるように、お正月はそういう意味では私たちの生活のいきりとして前進をさせるよい機会でもあります。
今年も半ばです。半ば歩みのがのろいたとに思われて、着実に、歩みを進めることにならぬでしょうか。
横越村も、新年を迎えていろいろ新しい事案をかえております。小学校の統合校舎建築、道路の工事、農圃園、福祉行政関係など新しい社会の発展に対していくつものために、今後横越村の生き方を著実に、慎重に進めていかなければならないのではないかと感じます。
公民館も村民の皆様との関係にこたえるために、心を新たにして仕事を進めて参りたいと思っております。皆様もまた気軽に公民館を御利用下さい。と思っております。お返事を兼ねてお返し申し上げます。
昭和四十八年が、村民の皆様にとってよい年でありましたように心からお祈り致します。